

2024年度 経営学科「知の探究」

2024年7月12日時点

※) 標準履修年次2024年度2年生対象
 ※) 「知の探究」開設8クラス・リスト

※) 各クラス定員 未定 【2023年度実績28人】
 ※) 春学期終了頃に、履修を希望するクラスを3つ申請し、配属クラスを1つ決定
 ※) 各クラスの詳細な授業計画・内容については、シラバスを参照のこと

2024年度 開設予定クラス		曜日	学問分野 キーワード	授業概要 (シラバス)	授業計画概要
青木 勝一	アキ マサカズ	月3	公共経営	この科目は、3年次におけるゼミナールの基礎的な前提となる科目であり、専門領域の基礎的な理解を深めるためのものである。企業経営、公共経営、会計、経済・ファイナンス、統計・情報技術、法律など本学部の専門領域を網羅した形で各教員が担当する。専門の基礎を学ぶことで、3年次からのゼミナールへの移行がスムーズに行くと考えている。成績は、授業やグループ内での発言や議論への貢献、発表内容により評価する。	本授業では、公共経営分野における事例調査の手法や考え方の基礎を学び、次年度のゼミナール及び卒業論文の作成への導入を図るものである。今年度は足立区を事例として取り上げる予定である。事例に対して、様々な政策領域（産業、福祉、防災など）に関し、その自治体の直面する課題を調べ、その解決策あるいは取られている政策の改善案を考える。
石田 晴美	イシダ ハルミ	金2	財務会計、企業分析		「会計」分野のうち「財務会計」に的を絞り、①「財務会計」に関する現在のトピックを学ぶとともに、②主に有価証券報告書を活用した企業分析を行う。3年次のゼミナール履修に備え、最低限身につけておくべき社会人としての常識・マナーや自分で学び調べ、発表するための基礎を修得する。
上山 晋平	カミヤマ シンペイ	金2	管理会計		本授業では、管理会計論の基礎的な知識を習得し、企業価値評価の理論の理解を深めるものである。Excelを用いて管理会計情報を分析し、関心を持った企業の価値について自ら考察し、説明する力を身に付ける。
田中 克昌	タナカ カツマサ	月3	経営戦略、イノベーション、コンサルティング		経営戦略とイノベーションについて学修したうえで、経営コンサルタント（中小企業診断士を含む）の業務体験を目的とした2つのグループワーク「SDGsと新製品開発」、「オープンイノベーションによる事業拡大」を行います。グループワークでは、企業に関する的確に情報収集、整理・分析し、課題解決策を提案できる能力を身に付けます。また、企業の代表者という立場を疑似体験し、経営戦略について考察します。
遠山 道子	トヤマ ミチコ	金2	応用言語学、応用音声学		この授業は、「ことば」と「コミュニケーション」の多様な側面について理解を深めるためのものである。具体的には、ネーミングという現象／行動に言語の構造がどのように関わっているかを考察する過程で、日本語の音声・音韻体系（リズム、アクセント、音節構造など）についての知識を獲得し、音声の持つ影響力について考察する。
堀田 敬介	ホッタ ケイスケ	月3	問題発見、問題解決、オペレーションズ・リサーチ、シミュレーション、意思決定科学、経営科学		意思決定では複数の代替案（選択肢）から望ましいものを選択する。そのためには、適切な問題発見と問題解決の技法が必要となる。本授業では、PCを駆使してどのように問題発見・問題解決をするのか、いくつかのトピックについて実践的に学ぶ。ゲーム理論、シミュレーション、セルオートマトン、最適化、AIなどを扱う。
山崎 佳孝	ヤマザキ ヨシタカ	月3	異文化マネジメント、国際人的資源管理		本授業では近年のグローバル化について、日本国内、海外生活や海外赴任で起こる様々な問題、トラブル、コンフリクトについて具体事例をもとに議論する。事例として、異文化コミュニケーション、異文化間ビジネスと経営、国際・海外留学等も取り扱う。授業ではグループ活動とプレゼンテーションにより学習効果を高める。
山本 顕一郎	ヤマモト ケンイチロウ	月3	法学、情報と法、インターネットの法律問題・社会問題		このクラスの共通の課題として「情報通信ネットワーク内で生じる様々な法律問題・社会的問題」を設定し、これを多面的に考究する。具体的には、SNS等への不適切投稿・誹謗中傷、プラットフォーム規制、フェイクニュース等々である。このような調査研究により、ネット空間に生起する諸問題を認識し、解決策の有無・方法を追究する。同時に、ゼミナール活動に必須の技能・スキルを養っていく。